



風かおる
人が輝き
躍動するまち

とままえ

10

No.566



まちひと百景

大地の恵み 収穫の秋

10月上旬は、町内各地区の稲刈りが最盛期を迎えている。今年は例年より生育は良いとのこと。

岩見の花井秀昭さんの水田でも稲刈りが始まった。9月19日には、学社融合事業で子供たちが稲刈りを体験した。

- 苫前町議会だより…2~5
- 第31回苫前町民マラソン大会…6
- BBBB合同演奏、文芸…7
- グレース美幸さんが来庁…8
- まなびの情報…9
- 健康ばんざい…10
- 健康情報…11
- 国民年金…12
- メタボと闘う…13
- 住まいる情報…14~15
- ちびっこギャラリー…16

苫前町
議会だより
合併号

まちの人口

人口/3,829人 (男/1,803人 : 女/2,026人)
世帯数/1,682世帯 (9月30日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

苫前町議会

2008

議会報発行特別委員会

議会だより

10

No.73

委員長	猫島 優	大志
副委員長	西 幸	隆男
委員	青木 一	哲志
//	渡部 小	倉田
//	倉田 沢	收

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

平成20年 第3回定例会

平成二十年第三回定例会は九月十八日開会され、町長提出の予算二件、条例四件、人事二件、報告その他三件、議員提出の意見案六件、会議規則一件、いずれも原案通り可決し、平成十九年度各会計決算については決算審査特別委員会に付託し、同日閉会した。

議案の主なもの



- ・一般会計補正予算
補正額一、九〇四万九千円を増額し、総額三二億七、六三九万九千円となった
- （補正予算の主なもの）
- ・スイトコーン播種装置導入事業補助金 五一〇万円追加
- ・産業振興基金繰出金（産業振興基金貸付）

二、五五六万八千円追加

- ・国民健康保険特別会計補正予算
補正額四一六万六千円を増額し、総額五億九、一〇一万三千円となった
- ・北海道後期高齢者医療広域連合議会議員選挙

- ・松井宏志（鶴居村議）五票
- ・渡辺正治（余市町議）四票
- ・株式会社苫前町振興公社財務諸表の報告
- ・平成十九年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- ・実質公債費比率 二二・三・四%
- ・将来負担比率 一一・七・七%
- ・資金不足比率（簡水・下水道・風力発電）資金不足額がないため、算定されない
- ・まちづくり基本条例の一部改正
- ・町営住宅条例の一部改正
- ・特定公共賃貸住宅管理条例の一部改正

- ・下水道設置条例の一部改正
- ・教育委員会委員の任命について同意した。
- ・池田民治氏（古丹別）新任
- ・花井秀昭氏（岩見）新任

会議規則を改正しました！

反問権を新設 反問権って何？

これまで、議会においては質疑、質問は議員が一方通行で行うことだったが、反問権を設けることにより、理事者や説明員側からも、議長・委員長の許可を得て、議員に対して質問したりすることが可能になる。

これにより、お互い良い緊張感のなかで、議論が活性化し、建設的な議論が期待できる。

意見書を提出しました！

届けみんなの声

新たな過疎法の制定に関して「北海道開発の枠組み」の堅持に関して
道路整備に必要な財源確保に関して
原油価格高騰に関して
後期高齢者医療制度に関して
介護労働者の人材確保と待遇改善に関して

熱心な傍聴

ありがとうございました ごうございました

苫前中学生徒、町老人クラブ連合会、成人講座の参加者など、傍聴者が四十三名にのぼり、場内に良い緊張感を与えて下さいました。

住民の皆さんに傍聴を頂くことで、議会では、どんな議論がされているのかが出てきます。また、議会もこれまでに以上に住民のみなさんが町政に参加できるように努めたいと思います。



一 般 質 問

寄付金条例の制定で“まちを元気に!!”

地域を少しでも安定する
まちづくりとは



猫 島 議 員

一、当町での寄付行為的なものは、年平均「何件、何万円」でその使い道と運用内容は、
二、私が求める「ふるさと基金」を町が条例を定め、実施に移すお考えがあるのか、また、それを可とした場合のタイムスケジュールはどのようになるのか？

答 弁 森 町 長

一、寄付金の性格上、収入の時期や金額が不確定であるが、平成十五年度から平成十九年度までの五年間の収入実績は、五九件の二、四一六万円になっている。過去五年間の寄付金総額を一年平均にすると、件数で十二件ほど、金額では四八〇万円になる。地方公共団体の寄付金収入については、金銭を寄付して

いただいた方の意思により、用途を限定した指定寄付金と一般寄付金に区別されるが、過去五年間の寄付金は一般寄付金が四五件の一、四二三万円、指定寄付金は十四件の九三三万円になる。

また、指定寄付金の使途ごとの内訳は、福祉関係六件（二二七万円）教育文化関係三件（一八万円）産業関係一件（二百万円）その他四件（五三三万円）となっている。

収入した寄付金につきましては、一般寄付金は一般財源として、指定寄付金は指定された目的や事業等の特定財源として充当し、有効活用した。



二、現在、町におきましても引き続き人口減少と高齢化が進行し、特に若者層の流出が顕著であるとともに、農林水産業の担い手不足、公共事業の減少などを受けた地域主幹産業の活力低下、さらには、医師不足、医療費の負担増など地域医療問題の直面や市町村財政の悪化に伴う投資余力の低下などを受け、地域を取り巻く環境は、さらに大きく変化しているところであり、それに対応した地域の役割を構築すべき施策として、元気を生み出す人材力や地域力の強化、自立、持続に向けた地域経済の確立、安心を支える生活基盤の確保、環境共生社会づくりへの積極的な対応などを軸とした、各種施策について、しっかりと取り組んで行かなければ、地域の将来を切り開いていくことは出来ないものと考えている。これらの施策を展開するにあたっては、苦前町の住民の皆さんや、苦前町出身者であるかどつかに関わらず、苦前町を応援してくれる人を対象とした寄付金の受け皿となる「寄付条例」の制定が、有効であると判断しているところである。

このことを踏まえ「寄付条例」の骨格となる寄付金の使途、つ

まり、応募メニューの選択、お礼の手法、寄付金の受付方法、納付方法などについて、「住民参加」の原則や手法を踏まえ、住民の皆さんの幅広い意見や提案を求めながら、来年三月定例会において条例案を上げすべく進めている。



町民マラソン大会

一 般 質 問

体育施設の今後の行く末はどうなる!? メタボリック受診率のクリアのために...

社会体育施設の有効活用



田 沢 議 員

一、平成十三年度に閉鎖した町民プールの取り壊し予定と跡地の活用方法について町の考えを伺いたい。

二、開設以来、無料であるスポーツセンターの使用料を本町財政状況を考えた場合、有料にする考えはあるのか？



答 弁 森 町 長

一、昭和四十六年に開設し、経年劣化による破損が著しく補修不能と判断し、普通財産として教育委員会から引き継いだのが、取り壊すとしても多額の費用がかかるため町の施策や事業優先順位を勘案し判断したい。当施設はフェンスにより立ち入り禁止としているが、更に事故防止など安全に配慮していきたい。跡地の活用については行政ニーズを把握しながら今後、検討したい。

答 弁 伊藤 教育長



二、社会教育及び社会体育施設の有料化については平成十七年に見直しをしたところであるが、スポーツセンターの管理業務は現在一名で行っており、有料化にした場合最低もう一名増員しなければならず、委託体制や費用対効果等を考えると困難な状況であり、学校開放体育館の有

料化も考える必要があるため課題が多いことから、利用者や利用団体を含め当町にふさわしい「有料化」を協議検討していきたい。



健康への意識は

一、本年四月より始まった「特定健康診査・特定保健指導」の受診状況はどうなっているのか？

二、年度途中で退職した保健師や栄養士の補充予定はあるのか？

答 弁 森 町 長

一、平成二十年四月から始まった「特定健康診査・特定保健指

導」は四十歳から七十四歳までの国保加入者を対象として、「病気の早期発見・治療よりも、それ以前の段階で異常を発見し、生活習慣改善で予防すること」を目的としている。今年度は2回の健診を予定しており、第一回は九月十二日から十四日に実施し、対象者一、一名中、一八 名程度が受診し、今年度の目標数値である25パーセントは達成見込みとなっている。第二回は来年一月中旬に予定している。

本健診は五年後の平成二十四年度に受診率65パーセントという国の基準があり、達成出来ない場合は、「後期高齢者支援金増額」というペナルティが課せられるため、受診勧奨を含め多くの方々が受診されるよう努力していきたい。

二、本年七月三十一日付けで保健師と栄養士が自己都合により退職し、現在保健師は来年三月までの期限付き嘱託保健師を含め六名であるが、今年度から始まった「特定健康診査・特定保健指導」等の事業実施に際し、補充は必要不可欠と考えており、来年四月一日までに採用すべく、現在関係機関への募集を行っている。

委員会レポート

**総務文教
常任委員会**
平成20年11月
9月開

所管事務調査のため、町内視察を実施した。

北留萌消防組合早苗消防支署
職員の数と現員数に差異があるが改善の見通しについて、救命救急士がいない場合は一般消防士の採用を考えたい。

苦前小学校給食調理機器修繕
人的なミスであり、点検方法を明文化し管理を徹底する。

古丹別中学校三階手洗い場漏水修理
古丹別小学校校門管絃
工法等を検討する。

苦前町B&G海洋センター改修工事
一度曲がったものは強度不足になるので屋根のパイプのゆがみ、取り替えたい。

公民館車の更新
財団の助成の要件により、車種に制限がある。

学校支援地域本部事業
学校融合事業は全道的にも高く評価されている。融合より学

校を知るといふことで進めていきたい。五十年先をみて。



**産業厚生
常任委員会**
平成20年5月
9月開

所管事務調査のため、町内視察を実施した。

昭和長島線単独災害復旧工事
今年の融雪時に被災した昭和長島線は苦前建設工業(株)が七月に工事費一九六万三千五百円で契約し、九月完成した。

古丹別地区下水道事業
総事業費十九億円で昨年度から始まった古丹別地区下水道事業の污水管渠布設工事(第1工区から第5工区)現場と污水处理場を視察した。

道道刀屋九重線道路改築事業
平成元年から総事業費二十九億四千万円、延長五、二メートルで、平成二十二年度完成予定である。

上平共同利用模範牧場
畜舎は築三十年以上が経過し、老朽化が著しく、農協及び酪農組合より改築要望書が提出されている。

苦前高台ファームポンド
国営事業で完成し、旭地区や昭和地区の酪農家や畑作農家の肥培及び湿潤用水として送水しているが、砂濾過による汚泥状態を確認した。

苦前漁港特定漁港漁場整備事業
国直轄事業として総事業費五十二億円で平成十四年度から始まり、昨年度マイナス三・五メートル岸壁の一部が完成し、供用開始されている。平成二十三年度完成予定である。

全員協議会

平成20年
9月4日
開 催

【主な協議事項】

広域火葬場の整備について
羽幌町、初山別村との広域による火葬場建設について、建設費の負担割合で合意が得られないため引き続き協議検討することとなった。

苦前町福祉有償運送事業について
苦前町が運送主体となり平成十八年度から要介護者や身体障害者等の移動制約者などの輸送を行っており、十月から二年間の期限で再度実施するよう現在、陸運支局に申請中である。

**医療対策
特別委員会**

平成20年
9月2日
開 催

苦前厚生病院経営損失補償金等について

平成十九年度の苦前厚生病院の経営損失金額は七、二二七万六千円となり、今年度から全額を町が補填するため、損失補償金額は七、二二七万六千円となった。

**臨海地域
特別委員会**

平成20年
9月4日
開 催

株式会社苦前町振興公社の平成十九年度事業について

平成十九年六月に第八期定時株主総会、五回の取締役会議などを開催した。売上高は一億九、四三三万七千円で、売上原価を差し引いた売上利益は一億三、六九八万九千円となり、一般管理費などを差し引いた営業利益は燃料価格の高騰などの影響もあり、三、六一三万六千円のマイナスで、指定管理料などの営業外収益を入れても、当期利益は四四七万五千円のマイナスとなった。

編集後記

先月3日の町敬老会に参加し、高齢者の皆さんの元気はつらつな姿に、私も頑張らなければと思いました。現在があるのは、皆さんの活躍があつてのことだと敬意を感じます。これからも皆さんの豊富な知恵をいただき、町の活性化に努めたいと思います。議会だよりは、町民の皆さんと議会を結ぶ情報源として、読みやすい紙面づくりに心がけておりますので、今後ともご愛読のほどお願い致します。

(小倉)

敬老会

9月15日は敬老会



苫前・古丹別婦人会の手づくり料理を楽しむ

九月十五日の「敬老の日」を前に、三日(水)に公民館において、平成二十年度苫前町敬老会が町の主催により開催された。森町長は、「農業、漁業が盛んなのは皆さんのおかげ。町のためにご活躍いただき、誠にありがとうございます。今日一日は、たのしいひとときにして、さらに元気になって下さい。」とあいさつで感謝と長寿を祝った。この日は、七十五歳以上のお年寄り百六十二人が参加し、苫前・古丹別の両婦人会の準備した手作り料理を味わいながら歓談し、古丹別保育所園児のお遊戯や、婦人会の舞踊、J A 花結び会の歌唱、高齢者有志によるカラオケ披露などで楽しんだ。町内の六十五歳以上の高齢者は一、三百九十一人で、高齢化率は三十六・三％にのぼる。

風車ウォーキング(秋)

九月七日(日)上平ウインドファーム内において、今年二回目となる風車ウォーキング(秋編)が開催された。

日頃の運動不足や健康について考える契機とするともに、ふるさと苫前の再認識などを目的として実施されており、今年で三年目となる。

「運動不足解消、健康推進を図ることを目標に汗を流して参加者達の交流も含めて今日一日楽しんでもらいたい。」との伊藤教育長の挨拶のあと、参加者はマイペースでコースへと出発した。

この日は、あいにくの曇り空ではあったが、子どもからお年寄りまで三十一人が参加し、一周四・四kmのウォーキングコースを楽しんだ。子供たちは、風車の景観よりも昆虫採集に夢中であつた。

爽やかな汗を流したあとは、定番となつたふわつとのヘルシーメニューを堪能し、その後には温泉入浴。健康づくしの一日でした。



ウォーキングを楽しむ参加者

ヒラメ人工種苗放流式

元気に大きくなって帰ってこいよ!

九月九日(火)、(社)北海道栽培漁業振興公社、留萌開発建設部、北るもい漁業協同組合、留萌支庁北部地区水産技術普及指導所、苫前小学校、苫前保育園、苫前町が主催するヒラメ人工種苗放流式が苫前漁港新港で行われた。

これは、学社融合事業の一環でもあり、苫前小学校(八谷芳博校長)の五年生十五人と、苫前保育園(青木久美子園長の藤組十一人が、十cmほどに育つたヒラメを丁寧な海へ放流した。放流後は、港の探検に出発。町の職員などにダブルデッキや漁港の説明を受けた。

「ヒラメはどうやってエサを摂るのですか」、「ヒラメのおいしい食べ方は」などの質問に対し、町の職員らが分かりやすく丁寧に説明を行っていた。



願いを込めて静かに放流する園児たち

今年は大大会新記録が続出!! 第31回苫前町民マラソン大会

さわやかな秋風が吹く絶好のマラソン日和となった9月21日(日)は225人が参加し、1kmから5kmの17部門に分かれて、苫前商業高等学校前から元気にスタートした。



2km各部のスタート

今年は、9部門で大大会新記録が出るというハイレベルな展開となり、体力低下が懸念されている昨今においては、うれしい結果となった。

また、今年初めて行われたリレー部門には、11チームが参加し、沿道からはトライアスロンさながらの声援が寄せられていた。

なお、結果は左表のとおり。



今年初めて行われたリレーの部のスタート

距離	種目	氏名	タイム
1km	小1男子の部	工藤 颯太	羽幌小1年 4分16秒16
	小1女子の部	池田 朱桜	羽幌小1年 4分28秒42
	小2男子の部	矢田 剛琉	古小2年 4分02秒55
	小2女子の部	黒田 侑里	古小2年 4分23秒78
2km	親子マラソンの部	工藤蓮士 / 慎也	羽 幌 4分22秒20
	小3男子の部	亀田 海渡	古小3年 8分24秒17
	小3女子の部	岩田 来千	苫小3年 9分32秒72
	小4男子の部	前川 至	古小4年 9分15秒92
	小4女子の部	金子 真彩	苫小4年 8分19秒29
	小5女子の部	久保 杏奈	古小5年 8分45秒61
3km	小6女子の部	田口 萌乃	古小6年 8分56秒32
	小5男子の部	檜谷 祥貴	苫小5年 13分59秒33
	小6男子の部	五十嵐 海渡	苫小6年 13分17秒12
	中学女子の部	福田 レナ	古中1年 12分34秒34
5km	一般女子の部	伊藤 沙弥香	羽幌高校 13分35秒90
	中学男子の部	伊藤 翔貴	古中1年 20分30秒12
	一般男子の部	田中 稔久	苫 前 17分27秒31
1.3km x 3周	リレーの部	大矢根 諒	苫前商業 高校A 12分38秒74
		芳賀 博史	
		逢坂 拓人	

(注記)各1位のみ掲載。敬称略。タイムの青字は大大会新記録

BBBB LIVE2008 ブラック・ボトムズ・プラス・バンド

今年もやってきました！ 陽気でたのしい演奏！！



親切丁寧な指導が行われた：苫前中学校にて

9月15日(月)に公民館において、今年で4回目の来町となるBBBBが、熱気あふれるライブ演奏を行った。

1部では、客席を回りながら演奏するなど、パフォーマンスとパワー全開で会場を盛り上げ、観客約350人の心を熱くした。

2部では、苫前と古丹別の中学校と羽幌高等学校の吹奏楽部との合同演奏を行い、会場を沸かせていた。終了後のサイン会には、長蛇の列ができるほど盛況であった。

前日には、苫中・古中合同の吹奏楽部員らと共に苫前中学校体育館で、合同演奏の練習を行い、「とにかくリラックスすることが大切」などのアドバイスを受けていた。



BBBBと苫中・古中・羽高吹奏楽部の合同演奏

9/5 ハンカチをそめてみよう

今回は、本を利用してやってみよう・こどものたまり場の合同企画です。

参加した14人の子供たちは、火を使っの作業にドキドキ。先生のお話をよく聞きながら、慎重に進めていました。

さて、上手にできたかな。



9/2 成人講座「コーラス」

声をだして、脳トレ、ストレス解消してみませんかのキャッチフレーズで行われた成人講座「コーラス」に、十人が参加した。

クリスタルコーラスサークルの坂川明美さんを講師に迎え、もみじなどの課題曲五曲を合唱した。

最初は緊張気味の参加者も、時間が立つにつれ、だんだん声が出るようになり、後半には大きな声で合唱していました。この日、自分の才能を再発見した人も多いのでは？



「文芸」 苫前町文芸を語る会

(短歌)

札幌市 横内 弘子

ワレモコウ悲しい響きで胸に沁むどんな花かと因縁を開く
何処からか飛んできたのか赤色の風船ひとつ孫が追ゆく

古丹別 木幡とく子

季はずでに九月となりて鈴虫の声競い合ふ夜更けの窓に
山里に響くお寺の鐘の音ゆつたりとして夕陽沈みぬ

古丹別 大矢根亮子

人生の断片ひとつ吾が胸に残して義姉の一周忌
無心にて初秋のかおりに包まるも自律神経高ぶる日々よ

札幌市 住吉 美恵

交差点の横断歩道も馴れ初めて吾がハビリの路と行く時
萩ゆれてこぼれし露の玉光り長月の使者音無きて去り

(俳句)

古丹別 桑 風

十三夜サイロに向きて語りあう
一閃の日の残像や枯れすすき

友去りてコスモスだけがゆれる庭
イモかぼらや吾子と思いつ送る母

(文責・大矢根)

古丹別 林 千代美

川柳

土俵入り 一人で背負う 重い綱

金メダル 努力の結晶 玉の汗

黙々と 働く者に 似合う汗

大家族 物干し竿が 悲鳴上げ

汗積んで つんで後期と 云う哀れ

(文責・鎌田)

古丹別 運上 吉雄
古丹別 小島 信子
古丹別 斎数 範章
苫前 関 範章
苫前 鎌田 信夫

第12回火の用心杯パークゴルフ大会

9月7日(日)14時から古丹別リバーサイドパークゴルフ場で開催された。

今年で12回目となる当大会は、パークゴルフを通して地域住民と連携を深め、火災予防に対し一層の協力と防火思想の普及を図ることを目的として、北留萌消防組合消防署古丹別支署が毎年開催している。

競技は、北コースと南コースを2周し、36ホールのスロークプレーで行われた。ハンディキャップは無し。

この日は、町内の有志32名が参加し、優勝を目指して日頃より鍛え上げた腕前を披露していた。結果は左記のとおり。

賞	氏名	スコア
優勝	榎本 秀雄	114
準優勝	草薙 寛	115
第1位	佐藤 関夫	115
第2位	黒部 実	116
第3位	佐々木 久子	117
第4位	中塚 公彦	118
第5位	若狭 英司	118
第6位	猪股 寿之	120
第7位	三住 俊夫	120
第8位	村田 正克	120
第9位	鳴海 武美	122
第10位	鎌田 貞彦	122
119番賞	山根 スナ	
火の用心賞	小野 章子	
苫前町消防団副団長賞	榎本 イサ	
消防署古丹別支署長賞	福井 美佐子	
苫前町消防団古丹別分団長賞	後藤 則子	

競技開始前の記念撮影



奇蹟の架け橋～グレース美幸さんが来庁

平成13年8月に、九重の森本国光さんの兄で戦死した重一さんの日章旗が、57年ぶりに奇蹟的に返還された。その架け橋となったグレース美幸さん(アメリカのサンフランシスコ郊外在住)が、このほど森本さん宅を訪問した。

9月26日(金)には、国光さんたちと町長を訪問し、当時の返還に至った経緯や、日章旗を浜辺で拾って保管していたジェームス スウェットさんの様子などを町長へ報告した。

国光さんは、「今も遺品が砂に埋まっているかと思うと、是非現地へ行ってみたい。」と思いを語った。

(関連記事は「広報とままえ2001年9月号」を御覧ください。)

当時の状況などを語るグレース美幸さん(中央)と森本国光さん(右)



実りの秋

苫小5年生と古小5年生が稲刈りを体験

～学社融合事業～

9月19日(金)、秋晴れとなったこの日は、苫前小学校と古丹別小学校の5年生34人が、岩見の花井秀昭さんの水田で稲刈りに挑戦した。

講師の花井さんから、鎌の持ち方や稲の刈り方など注意点を教わったあと、子供たちは1人ずつ鎌を握り、慣れない手つきで慎重に稲を1束ずつ刈り取っていった。

刈り取った稲は、その場で脱穀まで行った。乾燥されたお米は、給食で食べる予定となっている。



刈り取った稲を脱穀機へ運ぶ



手で稲を刈る子供たち

地域社会貢献事業

心から感謝申し上げます

九重地区コミュニティーセンターの周辺を整備

九月十一日(木)に東北建設(株)菊池浩代表取締役)が、九重地区コミュニティーセンター「寿の家」の庭や池などの整備を行った。

切り株や木の根っこの撤去など、人の手ではできなかった作業を重機によって処理した。また、五名の作業員は、池の石組み補修や草刈り、砂利敷きなどを行った。

「この場所は昔、町内会で作った庭で、現在は小学生や保育所の遠足コースになっている。きれいになって子供たちも安全にたのしく遊べます。」と町内会の皆さんも満足そうであった。ありがとうございました。



池の周辺に砂利を敷く職員